

授業科目名	【Gカリキュラム】 商法(総則・商行為)Ⅱ ※本年度は開講せず 【EFカリキュラム】 商法総則・商行為法Ⅱ	その他参照	開講年次	【G】3 【EF】3	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	専門科目：【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-) / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目 【EF】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	一般の市民同士の取引とは異なる、ビジネス社会の規律について、企業取引に関する商行為法を学ぼう。	担当者	仲宗根 京子			
授業概要	<p>【概要】 商取引法は、民法における財産法に対する特別法と位置づけられます。民法の規制との異同を意識しつつ、基礎的な知識を獲得して論点を理解することを目標に、講義したいと思います。また、割賦販売、電子商取引、リースなどの現代的な取引形態も取り上げる予定です。</p> <p>【到達目標】 この授業では、商人・商行為についての基本用語および概念を理解し、適切に用いることができることを目指します。また諸制度・諸規定について、そのような制度・規定が設けられた趣旨を理解し、説明できることを目指します。</p>					
履修条件	できれば、原則として、商法総則・商行為法Ⅱ、会社法Ⅰ、Ⅱを継続して履修することが望ましい。 私語、途中退室は慎んで下さい。教科書および最新版六法（種類は問わずコンパクトなものでよい）、配布済みのレジュメも毎回持参して下さい。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 福原紀彦編著 『企業法要綱 2 企業取引法－商法[商行為法]等－』 (文真堂、2015年)</p> <p>【参考書】 江頭憲治郎ほか『商法総則・商行為法判例百選 (第5版)』有斐閣</p>					
授業回数	授業内容					
1	商行為法総論		予習：上記教科書, p～p (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
2	商行為の通則 (1) 商行為の代理と委任		予習：上記教科書, p37～p44 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
3	商行為の通則 (2) 商事契約の成立 (3) 商事債権の営利性		予習：上記教科書, p44～p54 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
4	商行為の通則 (4) 商事債権の担保の強化 (5) 商事債権の消滅 (6) 商事寄託		予習：上記教科書, p54～p61 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
5	企業間売買と商行為法 (1) 売主・買主の特殊な義務 (2) 定期売買の解除		予習：上記教科書, p68～p79, p 80～p83 所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
6	交互計算		予習：上記教科書, p83～p94 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
7	匿名組合		予習：上記教科書, p95～p98 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
8	仲立と取次 (1) 仲立営業		予習：上記教科書, p99～p106 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
9	仲立と取次 (2) 問屋営業		予習：上記教科書, p107～p113 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
10	仲立と取次 (3) 運送取扱営業		予習：上記教科書, p114～p117, p118～p122 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
11	運送営業 (1) 総論 (2) 物品運送		予習：上記教科書, p123～p138 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
12	運送営業 (3) 旅客運送		予習：上記教科書, p138～p142 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
13	場屋営業		予習：上記教科書, p143～p147 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
14	倉庫営業		予習：上記教科書, p147～p154 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
15	まとめと期末試験		予習：講義中指摘した重要部分の総復習 (所要時間目安：70分) 復習：関連知識の確認 (所要時間目安：20分)			
評価方法	期末試験 (70%) および受講意欲や質問に対する対応 (30%) により評価します。					
評価基準	授業によく出席し、各テーマについての討論に積極的に参加し、各論点について十分理解し、かつレポートも全て提出した者には程度に応じて「S」又は「A」を与える。討論への参加や各論点についての理解度が不十分な者は、その程度に応じて「B」又は「C」とし、授業への出席が不芳で、各論点についての理解度が一定の基準に達していない者はその程度に応じて「D」又は「E」とする。評価不能な場合、「F」とする。					
その他	※G 別：法【-】 法【-】 情【-】 / EF 別：法【-】 法【-】 経【選択必修 (β)】					